

特定非営利活動法人
埼玉環境カウンセラー協会

協会だより

第43号

発行日：2018年8月20日
発行人：会長 大熊 幸雄
連絡先
〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町 11-1 ヲムレ9F
さいたま市市民活動サポートセンター A82

電話：050-3610-1948
e-mail：sai-eca@soleil.ocn.ne.jp
ホームページ：<http://www.saieca.com/>

本号のラインアップ

会長あいさつ	1
環境研修の開催結果	2
「家にある化学物質の使い方」総集編	3
くまがやエコライフフェア2018に参加して	4
平成30年度埼玉環境カウンセラー協会通常総会の開催概要	5
通常総会 来賓あいさつ	6
情報交差点	7
第35回環境保全講習会の開催について・予告	
第18回さいたま市環境フォーラムの開催	
富士見市ふるさと祭りの開催	
情報交換会の開催	8
ECUの活動情報	8
編集後記	

◇ 会長あいさつ

大熊 幸雄

早い梅雨明けの後、毎日、酷暑が続いております。熊谷市では、41.1度Cの最高温度が記録されました。

会員皆さんには、いかがお過ごしでしょうか。

7月には、西日本で豪雨がありまして、200人を超える犠牲者を生じ、家屋に甚大な被害をもたらしました。ここから、お見舞い申し上げます。

今回の豪雨は、気候変動の影響と言われておりますが、被災地には過去にも土砂崩れの歴史がありました。災害の歴史を学ぶことが大事だと思います。

警戒情報についても気象庁が提供した情報の受け止め方が自治体、住民によって異なり重大性の認識に乖離があったようです。

満杯を避けるためのダム放流についても初期対応を誤ったとの指摘もあります。

被災地では災害廃棄物が山積みになっていますが、地域防災計画にはどのような対策が書かれていたのでしょうか。1995年の阪神淡路大震災の際には、兵庫県の災害廃棄物を埼玉県の越谷まで搬送して焼却処理をしていました。

今回の課題を多面的に検討して、実施可能な対策を立てていただきたいものです。

◇ 環境研修会の開催結果の概要

星野 弘志

8月3日（金）、環境研修会が開催されました。本年はNPO法人環境ネットワーク埼玉との共催による「積水ハウス エコファーストパーク・住まいの夢工場」の見学会です。

8:30、参加者36名と案内役の積水ハウスの職員の方2名を乗せたバスは、大宮駅から一路目的地の茨城県古河市へ。古河市に立地する積水ハウス関東工場は、東京ドーム約6個半の広さの国内最大の住宅工場です。訪問施設はこの工場の一角に位置しています。

午前中はエコファーストパークの見学です。まずは「資源循環センター」へ。住宅の施工現場で27種類に分別された廃棄物がこのセンターに搬入され、さらに80品目で分別されて自社又は業者委託で100%リサイクルされるそうです。次は3つの実験ハウスの見学。「風の家」は2006年に建設され、エネルギーを使わず自然の力で階下から屋上へと風を導き快適な暮らしを楽しもうという家です。「あしたの家」は2008年洞爺湖サミットで展示されたもので、太陽光発電、蓄電池、雨水タンク、ミニ野菜工場を備えたゼロエミッションハウスです。そして「木の家」は2010年のAPEC首脳会議で展示されたもので、構造材は全て国産の檜をいっつつ、電気自動車の駐車スペースと居室が一体となり、電気自動車に蓄電された電気を家庭で使う仕組みやHEMSなどを備えた和モダンな家です。また、庭には在来種の木が植えられ、蝶やトンボが飛び、池にはクロメダカが泳ぐなど生物多様性にも配慮されていました。



午後は、少し離れた住まいの夢工場へ移動。まずは家と人との関係を描いた短い映像を視聴しました。外国のような優雅な住宅地が広がる最後の画面でスクリーンと共に背後の壁が上がると、そこに実物の住宅地が広がり、その壁面開口部から住宅地へ出ていくという洒落た演出に参加者から感嘆の声が上がります。ここには20近いモデルハウスや建物の構造等がわかる展示施設があります。瓦一体型の太陽光発電の家や木造ハウスの構造や使わ

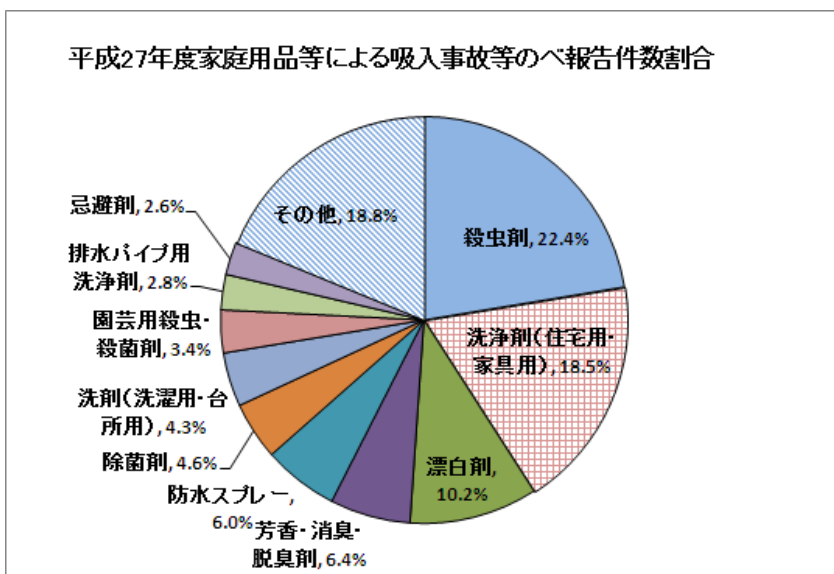
れている集成材の特長などの説明を受けた後は、地震体験ハウスです。ここでは耐震と免震それぞれの施設で震度4と震度7を体感できます。耐震施設での震度7の迫力はなかなかのものでした。改めて家具の固定など地震への備えの重要性を認識したところです。最後は、各モデルハウスを各自自由に見学しました。

積水ハウスは環境省からエコ・ファースト企業として認定されているだけあり、販売する住宅に先進的な環境対策を導入していることはもとより、RE100（再生可能エネルギー100%使用宣言）など積極的な環境対策を実施している企業です。今回の見学会は、今後の家庭部門の温暖化対策の方向性を知るとともに、環境先進企業の心意気を随所に感じる事ができた大変有意義なものとなりました。様々なご配慮をいただいた積水ハウスの皆様に心より御礼を申し上げます。

私たちの日常生活では、様々な化学物質が便利で役立つ化学製品として使われています。しかし、時として間違った使い方や不適切な取り扱いをした場合には、危害や健康へ悪影響を及ぼすことがあります。

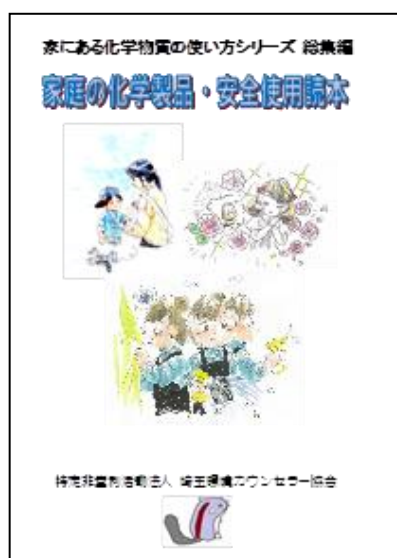
そこで、埼玉環境カウンセラー協会の化学物質検討委員会では家庭で安全に化学物質を使用するための情報提供を目的として「家にある化学物質の使い方シリーズ」を作成しています。これまで第1号「漂白剤」、第2号「衣類の防虫剤」、第3号「スプレー缶」、第4号「芳香剤」、第5号「浴室で使う化学製品」、第6号「消臭剤」、第7号「虫よけ剤」を発行してきました。本年3月は、その締めくくりとして、各種の製品を安全に適正に使うための注意事項や考慮事項を中心に一部内容を更新して総集編として取りまとめ、第8号として発行いたしました。

右図は、財団法人日本中毒情報センターに寄せられた相談事例から、吸入事故及び眼の被害事例を家庭用品等の種類別に表したもので、様々な製品により事故が発生していることがわかります。製品形態別にみると、スプレー式のものが52.7%と半分以上を占めており、特に注意が必要です。



このような状況を踏まえ、総集編は下表のような目次構成としました。家庭の化学製品の取扱いに関する一般共通的な事項を中心に、具体的な事例として、「衣類の防虫剤」「虫よけ剤」「消臭スプレー」「スプレー缶」なども取り上げています。また、最近CMが増えている殺虫剤の脱皮缶なるものの問題点についてコラムで取り上げました。

第1号から総集編までを含めて、皆様のご意見やご感想をいただければ、今後の活動の参考にさせていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



【目次構成】

Q1. 家庭の化学製品でどんな事故が起きていますか？
 Q2. まず、どんなことに注意したらいいですか？
 Q3. 安全に使用するにはどうしたらいいですか？
 Q4. その他どんなことに注意したらいいですか？
 A4-1 混ぜるな危険
 A4-2 使用目的に応じた製品を選びましょう
 A4-3 周りの人のことを考えて使用しましょう
 A4-4 過信は禁物、過度の依存は避けましょう
 A4-5 スプレー缶は特に注意しましょう
 コラム

参考資料
 1. 疑問点の調べ方
 2. 検索サイト等

熊谷市の主導により、小学生の環境ポスターの展示、表彰を中心に、市内の事業者、環境保全活動団体が協賛参加した環境イベントが、毎年行われており、5月26日から27日にかけて、開催されました。

協会は、県北会員の力を結集し、毎年参加しており、今年で13回目の参加となります。協会の活動内容の紹介、エネルギーに関連した体験型の学習に加え、身近な環境テーマを採りあげたパネル展示を展開しております。

特に「触れて体験、関心、理解をよぶもの」。そして今年度は「荒川 里山 ホテルなど・・・」を具体的なテーマにする方向が示されました。協会メンバーにより対応を検討、また、市との協議、確認を重ね、今回は・・・

- ① 「ほたるから学ぶこと」と題し、生物多様性と自然環境保全のあり方について、上田範文さんによる講話を展開。当協会の資質の高さを顕すことができました。
- ② 「家庭にある化学物質の使い方」の総集編の発行に因み、家庭で使用される、身近な化学物質について、安全に使うために配慮すべき点をパネルで案内し、また説明を加えました。冊子総集編の配付も進み効果的な展開ができました。
- ③ 家庭の省エネルギーについては、小さな対策も、多くの世帯が取り組めば大きな効果を成すことについてパネル展示。
- ④ 協会の活動を、パネルと写真で紹介し、「環境教育のお手伝い」ができることを、項目ごと解り易い絵にして展示。また協会パンフレット、「環境教育カタログ」を配付しました。数名の方々と、名刺交換にも及び、今後の展開に期待するところです。
- ⑤ エネルギーがわかる体験型イベントを展開。毎年、工夫を凝らしながらの展開には、来場した子供たちは楽しみながら体験し、加えて、親御さんは、改めての理解を示され、効果的です。

このような展開の中で、同じテーマを持つ団体が寄り、個々に細かな展開を図るより、テーマを眺望し、協働を提案しましたが、それぞれの事情は異なり叶いませんでした。他の団体とは懇意になり、今後に活かせたらと期待します。

ここに3,500人の来場者があります。押し釘で、パネルの展示位置を案内するしかけを施し、参加を促す。そして、パネルにはゴタゴタ書かず、インパクトのある表現で、詳細は持ち帰り資料とするなど、驚き、楽しさを以て、参加による「気づき」を与えるものとの方針の下に展開していますが、フェアも生きもの。更に更に改善を加えていきます。



説明する小坂会員



展示風景

◇ 平成30年度埼玉環境カウンセラー協会 通常総会の開催結果概要

特定非営利活動法人埼玉環境カウンセラー協会の通常総会は、平成30年5月19日（土）14：00～15：45、埼玉館5B会議室で開催されました。

概要は、次のとおりです。

1 開 会（司会）星野弘志副会長

2 挨拶 大熊幸雄会長

3 来賓挨拶

埼玉県環境部環境政策課長 矢島 謙司 様

あいさつ文は、次ページに掲載

4 議 事

以下の第1～4号議案は、全て承認、議決された。

(1) 第1号議案 平成29年度事業報告（中村事務局長説明）

(2) 第2号議案 平成29年度活動計算書（片倉会計）及び監査報告（内藤監事）

(3) 第3号議案 平成30年度事業計画書案（中村事務局長）

(4) 第4号議案 平成30年度活動予算書案（片倉会計）

5 各委員会活動等からの報告

(1) 化学物質検討委員会（中村副会長）

(2) 環境教育推進委員会（金子理事）

(3) 広報委員会（中村副会長、大熊会長）

(4) ECU活動（大熊会長）

(5) 事務局から

(6) その他

6 記念講演

「低炭素杯 2018」に参加して 宮崎 誠 氏

「環境実験教室」開催報告 金子 玲司 氏

SDGsの動向の紹介 堀中 新一 氏

埼玉環境カウンセラー協会 役員名簿（平成29-30年度）

役職名	氏 名	住 所	摘 要
理 事	大熊 幸雄	さいたま市浦和区	会 長
理 事	中村 章	富士見市	副会長、事務局長
理 事	星野 弘志	さいたま市南区	副会長
理 事	堀中 新一	蓮田市	
理 事	秋元 智子	さいたま市大宮区	
理 事	片倉 寛	久喜市	会 計
理 事	奥田 真司	春日部市	
理 事	金子 玲司	坂戸市	
理 事	角江 紘一	深谷市	
監 事	宮崎 誠	川越市	
監 事	内藤 定芳	秩父市	

◇ 通常総会 御来賓あいさつ

埼玉県環境部環境政策課長 矢島謙司 様

- 埼玉県環境部環境政策課長の矢島でございます。
本日は、埼玉環境カウンセラー協会の平成30年度通常総会にお招きをいただきまして、誠にありがとうございます。また、本日ここに通常総会が盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。
- 埼玉環境カウンセラー協会におかれましては、昨年度、創立20周年を迎えられ、長年にわたり会員の皆様の専門的知識や豊富な経験を生かし、個人や企業の方々の様々な環境保全活動を支援してこられました。
環境イベントへの参加による環境保全の普及啓発活動から、研修会を実施しての環境教育人材の育成まで、幅広い分野にわたって、本県の環境問題の改善に多大な貢献をいただいております。
大熊会長をはじめ貴協会の皆様に、この場をお借りいたしまして、心から敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。
- 御挨拶の機会をいただきましたので、少しお話をさせていただきます。
今、環境行政に携わるものとして、危惧していることがあります。県民の皆さんの意識の問題です。
ここに昨年10月に実施した、平成29年度県民満足度調査の結果があります。
埼玉県5か年計画の施策体系に掲げられている「安心して子供を産み育てることができる環境づくり」、「危機への備えや災害に強い地域づくり」、「埼玉の成長を生み出す産業の振興」などの14分野について、県民の皆さんに満足度と重要度を聞いた結果です。
- 環境に関する項目は、「環境にやさしく持続的発展が可能な社会づくり」と「みどりと川の再生など自然と共生する社会づくり」の2項目ですが、満足度については、「環境にやさしく…」が14項目中の3位、「みどりと川の再生…」が同じく4位と非常に高い評価をいただいています。
一方、重要度については、「環境にやさしく持続的発展が可能な社会づくり」が11位、「みどりと川の再生など自然と共生する社会づくり」が12位と、非常に低くなっています。
環境に係る施策は、2項目とも満足度は高いものの、重要度は低いとされています。
県民の皆さんの今の意識は、「埼玉県の環境は、公害対策が叫ばれた時代と比べてずいぶん良くなっている。河川もずいぶんきれいになってきたし、緑もそれなりに残っていて、そこそ良い。だから満足。」このような感じではないでしょうか。
そして、重要な差し迫った課題があるとも思えない、だから重要度は低いと認識されているのです。
しかし、現実には、大気汚染や水質汚濁、生物多様性の喪失や廃棄物処理の問題、そして、地球規模で取り組んでいかなければならない温暖化対策など、今から取り組むべき様々な環境問題が現在進行形で存在しています。
- 持続可能な社会をつくりあげ、子供や孫、その子供の世代までこの地球の環境を残していかなければなりません。
- 環境問題の解決には、個人、企業、行政などあらゆる主体が、自らの活動が環境に与える影響を意識し、日常生活や事業活動において環境に配慮した行動を実践していくとともに、協働して環境保全対策に取り組むことが極めて重要です。
そのために、県民の皆さん、事業者の皆さんの意識を変えていかなくてはなりません。
環境カウンセラーの皆様には、環境学習のための環境アドバイザー・環境教育アシスタントにも御登録いただき、今現在も多くの方の環境意識の高揚を図っていただいております。本当に感謝しております。
貴協会、そして環境カウンセラーの皆様方には、今後とも、環境に関するスペシャリストとして、その見識を最大限に生かしていただき、様々な活動を通じて、県民の皆さんや事業者の意識改革に一層の御尽力を賜りますよう心から御期待申し上げます。
- 最後に、貴協会の一層の御発展と御参会の皆様のお健勝を祈念申し上げまして、簡単ではございますが、私の御挨拶とさせていただきます。

- ・環境研修での集合写真



◇ 情報交差点

○ 第35回環境保全講習会の開催について・予告

期日 2018年11月10日(土) 午後
 場所 埼玉会館 4A会議室
 内容 SDGs 持続可能な開発目標の達成に向けて
 ~ 企業・自治体への導入 ~ (仮題)

○ 第18回さいたま市環境フォーラムに参加します

2018年10月26日(金)及び27日(土)
 10:00~16:00
 さいたま新都心駅 東西自由通路



○ 富士見市ふるさと祭りに参加します

2018年10月27日(土)
 富士見市役所周辺
 東武東上線鶴瀬駅東口から徒歩20分



SECAブースでの対応協力をお願いします。

写真はいずれも、2017年のもの

○ 情報交換会を開催しました。平成30年7月21日（土）午後

□ 内 容

- ・環境研修；2018年8月3日
積水ハウス「エコファーストパーク」「住まいの夢工場」見学
- ・環境保全講習会
2018年11月10日午後；埼玉会館
「SDGs関連 自治体、企業の取り組み」
- ・協会だより 第43号の発行
- ・さいたま市環境フォーラム・ブースでの対応者募集
2018年10月26日(金)・27日(土)さいたま新都心駅 東西自由通路
- ・富士見市ふるさと祭り・ブースでの対応者募集
平成30年10月27日(土)富士見市役所周辺
- ・彩の国環境大賞の応募
- ・ECU総会 7月22日神田で開催。大熊会長出席。
- ・坂戸市いずみ館；「環境アセス」講師派遣 大熊が対応、11月以降の予定。
- ・炭素杯2019；2019年2月8日 カルッツかわさきで開催
エントリー募集9月10日締め切り 2018は宮崎さんが出席した。
- ・秩父の野鳥 写真コンクール（予告） 内藤さん情報提供
募集期間 平成30年11月1日～31年1月10日

◇ ECUの活動情報

- ・平成30年度通常総会；平成30年6月22日（金） エッサン神田ホール
定款変更 理事長 → 代表理事 2名
役員改選 代表理事に佐々木進市、今井秀雄両氏を選任
- ・第8回環境カウンセラー全国交流会 平成30年9月27－29日 滋賀県
- ・化学物質リスクアセスメント初級研修 神奈川、名古屋、東京を予定
- ・第2回ECU環境カウンセラーESD学会 関東地区
- ・エコプロダクツ2018に出展 平成30年12月6－8日
ホームページ <http://www.minnanoecu.com/>

◇ 編集後記

中村 章

地球温暖化が原因と思われる、異常気象がみられ西日本を中心に災害が有りました。私達の活動も微力ではありますが協会だよりを通して「環境活動」の大切さを訴えて参りたいと思います。皆様の更なるご協力をお願い致します。



鹿児島環境未来館